

KISSEI

証券コード：4547

決算補足資料

2022年3月期 第2四半期

2021年11月9日

 **キッセイ薬品工業株式会社**

目次

【四半期決算短信「経営成績に関する説明」より抜粋】	P 1
I. 連結損益計算書の推移	P 2
II. 連結貸借対照表の推移	P 4
III. 連結キャッシュ・フロー計算書の推移	P 6
IV. 配当の推移	P 7
V. 主な医薬品の売上推移	P 8
VI. 新薬開発状況（自社）	P 9
VII. 新薬開発状況（導出）	P 9

注記

- ・ 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。前連結会計年度の連結経営成績等につきましては収益認識会計基準等を遡及して算出しておりませんので、当第2四半期連結会計期間の連結経営成績の対前年同四半期増減率につきましては参考値です。
- ・ 収益認識会計基準等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。前連結会計年度の連結経営成績等につきましては収益認識会計基準等を遡及して算出しておりませんので、2022年3月期の連結業績予想の対前期増減率につきましては参考値です。
- ・ 本資料記載の将来見通しは、既存の情報や様々な動向についてのキッセイ薬品による2021年11月時点での分析に基づいています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により見通しと異なることがあります。

【四半期決算短信「経営成績に関する説明」より抜粋】

・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、26,968百万円（前年同期比5.0%減）となりました。前連結会計年度に引き続き、コロナ禍において感染防止に十分配慮した上での医薬情報活動の中、過活動膀胱治療薬「ベオーバ錠」、男性における夜間多尿による夜間頻尿治療薬「ミニリンメルトOD錠25μg/50μg」、夜尿症・中枢性尿崩症治療薬「ミニリンメルトOD錠60μg/120μg/240μg」及び「デスマプレシン製剤」などの売上が増加いたしました一方、本年4月に実施されました薬価改定の影響及び輸出売上が減少いたしましたことなどにより、減収となりました。なお、株式会社三和化学研究所との間で日本国内におけるコ・プロモーション契約を締結いたしました二次性副甲状腺機能亢進症治療薬「ウパシタ静注透析用シリンジ」につきましては、本年8月に同社より新発売となりました。

情報サービス事業の売上高は3,755百万円（前年同期比56.7%増）、建設請負事業の売上高は1,351百万円（前年同期比14.6%増）、物品販売事業の売上高は313百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、従前の会計処理と比較して、医薬品事業の売上高は599百万円減少、情報サービス事業の売上高は67百万円増加、建設請負事業の売上高は376百万円増加、物品販売事業の売上高は138百万円減少しております。

・利益の状況

利益面では、売上原価率の上昇、研究開発費を主とした販売費及び一般管理費の増加などにより、営業利益及び経常利益は減益となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益の計上などにより増益となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、従前の会計処理と比較して、営業利益、経常利益はそれぞれ583百万円減少しております。

・研究開発の状況

本年2月に承認申請を行いました、ピフォー・フレゼニウス・メディカル・ケア・リーナル・ファーマ社（スイス）より技術導入いたしました顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬アバコパン（一般名、開発番号：CCX168）の製造販売承認を本年9月に取得いたしましたことから、薬価基準収載後に製品名「タブネオスカプセル10mg」として販売を開始するための準備を進めております。また、本年5月には、EAファーマ株式会社と共同開発を行っております潰瘍性大腸炎治療薬カロテグラストメチル（一般名、開発番号：AJM300）につきまして、同社から承認申請が行われました。

当社がライジエルフーマシューティカルズ社（アメリカ）より技術導入し、国内にて第Ⅲ相臨床試験を実施中の慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬ホスタマチニブ（一般名、開発番号：R788）につきまして、本年6月には韓国における開発権及び販売権をJWファーマシューティカルズ社（韓国）に、本年8月には中国（香港・マカオを含む）における開発権及び販売権をインマジンバイオフィーマシューティカルズ社（中国）に、それぞれ許諾するサブライセンス契約を締結いたしました。

このほか、当社の創製品であります、子宮筋腫・子宮内膜症治療薬リンザゴリクス（一般名、開発番号：KLH-2109）につきまして、本年9月に、中国における独占的な開発権及び販売権をバイオジェニン社（中国）に許諾する契約を締結いたしました。また、リンザゴリクスにつきましては、日本などの一部のアジアを除く全世界における技術導出先でありますオブシーバ社（スイス）により、本年9月に、子宮筋腫を適応症として米国食品医薬品局（FDA）に承認申請資料を提出いたしました。

I. 連結損益計算書の推移

(百万円)

項目	2021年3月期		2022年3月期			
	第2四半期 累計	通期実績	第2四半期 累計	前同比	通期予想	前期比
売上高	32,284	69,044	32,388	0.3%	65,400	△5.3%
医薬品事業	28,394	56,407	26,968	△5.0%	54,600	△3.2%
医薬品	24,521	48,140	22,947	△6.4%	46,200	△4.0%
ヘルスクエア食品	1,845	3,726	1,813	△1.8%	3,700	△0.7%
その他*	2,027	4,541	2,207	8.9%	4,700	3.5%
情報サービス事業	2,396	8,489	3,755	56.7%	7,200	△15.2%
建設請負事業	1,179	3,538	1,351	14.6%	3,000	△15.2%
物品販売事業	314	609	313	△0.2%	600	△1.6%
(売上高のうち輸出)	(2,032)	(4,600)	(1,877)	(△7.6%)	(3,700)	(△19.6%)
売上原価	16,188	36,322	16,924	4.5%	34,500	△5.0%
(原価率%)	(50.1)	(52.6)	(52.3)		(52.8)	
売上総利益	16,096	32,722	15,463	△3.9%	30,900	△5.6%
販売費及び一般管理費	14,051	31,217	15,193	8.1%	32,500	4.1%
研究開発費	3,548	9,626	4,168	17.5%	10,000	3.9%
(売上高比%)	(11.0)	(13.9)	(12.9)		(15.3)	
営業利益	2,044	1,505	270	△86.8%	△1,600	－
営業外収益	758	2,154	1,033	36.2%	2,000	△7.1%
受取利息及び配当金	644	1,273	820	27.3%		
その他の収益	114	881	212	86.7%		
営業外費用	22	183	21	△2.2%	100	△45.4%
支払利息	11	23	11	1.0%		
その他の費用	10	160	9	△5.8%		
経常利益	2,780	3,476	1,281	△53.9%	300	△91.4%
特別利益	2,940	4,087	6,634	125.6%	16,650	307.4%
特別損失	9	87	642	－	650	647.1%
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,711	7,476	7,273	27.4%	16,300	118.0%
法人税、住民税及び事業税	969	1,510	1,837	89.6%	4,700	211.3%
法人税等調整額	340	587	△279	－	△400	－
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	4	93	49	971.3%	100	7.5%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	4,396	5,285	5,666	28.9%	11,900	125.2%

(包括利益) (27,281) (30,762) (△10,037) (－)

* : 国内販売提携先供給額、技術料売上（導出テーマに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤリティ）、コ・プロモーションフィーの合計額

売上高	<p>実績： 医薬品事業：5.0%減収 医薬品が減少。医薬品ではベオーバ、ミニリンメルト他の増加があったものの、本年4月に実施された薬価改定の影響や輸出売上の減少などにより全体で減収。加えて、ヘルスクエア食品は減少の一方、その他の売上は増加。 その他の事業：39.4%増収 情報サービス事業が56.7%増収、建設請負事業が14.6%増収、物品販売事業が0.2%減収。</p> <p>予想： 医薬品事業：3.2%減収 医薬品では、引き続きベオーバ、ピートル及びミニリンメルト他などの育成を図るものの、本年4月に実施された薬価改定の影響や輸出売上の減少などにより、減収の見込み。 ヘルスクエア食品は減少、その他の売上は技術料売上が減少の一方、国内販売提携先への供給額が増加の見込み。 その他の事業：14.5%減収 情報サービス事業、建設請負事業、物品販売事業の全てにおいて減少の見込み。</p>
売上原価	<p>実績：売上原価率は2.2ポイント上昇 医薬品事業の売上原価率は製品構成の変化などにより上昇。一方、その他の事業は事業構成の変化などにより減少。</p> <p>予想：売上原価率は0.2ポイント上昇 医薬品事業の売上原価率は製品構成の変化などにより上昇を見込む。一方、その他の事業は事業構成の変化などにより減少を見込む。</p>
販売費及び一般管理費	<p>実績：前年同期比8.1%増加 販売費、一般管理費、研究開発費の全てにおいて増加。販売費の増加は、営業活動経費、減価償却費の増加などによる。研究開発費は、臨床試験費用を主に増加。</p> <p>予想：前期比4.1%増加 販売費、一般管理費、研究開発費の全てにおいて増加の見通し。販売費、研究開発費の増加は、年度前半と同様の理由による。</p>
営業外損益	<p>実績：受取利息及び配当金、有価証券評価益の増加などによる。</p> <p>予想：特別なものは見込んでいない。</p>
特別損益	<p>実績：投資有価証券売却益の増加などによる。</p> <p>予想：年度前半に加えて後半においても、投資有価証券売却益の計上を見込む。</p>

【その他項目（連結）】

(百万円)

項目	2021年3月期		2022年3月期			
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	前同比	通期予想	前期比
減価償却費	1,530	3,148	1,755	14.7%	3,700	17.5%
設備投資額	394	1,180	841	113.2%	1,600	35.6%
主要内容	生産設備等 209 その他 185	生産設備等 615 その他 564	生産設備等 391 その他 450		生産設備等 700 その他 900	
期末従業員数(人)	1,895	1,863	1,870	△25	-	-

Ⅱ. 連結貸借対照表の推移

(百万円)

項目		決算期		2022年3月期 第2四半期	増減 (対前期末)
		2021年3月期			
		第2四半期	期末		
資 産	流動資産	91,598	92,965	95,595	2,629
	現金及び預金	25,103	20,456	25,364	4,907
	受取手形及び売掛金	22,205	23,058	-	-
	受取手形、売掛金及び契約資産	-	-	21,573	-
	特定金銭信託及び有価証券	26,149	27,530	27,345	△184
	棚卸資産	16,927	20,119	18,705	△1,414
	その他の流動資産	1,212	1,800	2,607	806
	固定資産	174,883	175,895	155,461	△20,434
	有形固定資産	24,271	24,290	24,328	37
	無形固定資産	1,514	1,640	1,592	△48
	投資その他の資産	149,097	149,964	129,540	△20,423
	投資有価証券	137,835	138,133	114,675	△23,458
	長期前払費用	9,702	10,262	13,341	3,078
	繰延税金資産	554	585	529	△56
	その他の投資等	1,043	1,017	1,029	12
貸倒引当金	△37	△34	△34	-	
資産合計		266,481	268,861	251,056	△17,805

現金及び預金	・主として、利益による増加
受取手形、売掛金及び契約資産	・収益認識会計基準等の適用に伴う新設勘定科目 ・主として、情報サービス事業、医薬品事業における受取手形及び売掛金の減少
棚卸資産	・医薬品事業における原材料及び貯蔵品の減少、情報サービス事業における仕掛品の減少
その他流動資産	・医薬品事業における前払費用、未収入金の増加
有形固定資産	・減価償却による減少の一方で、医薬品事業における新規設備投資による増加
投資有価証券	・主として、時価評価による含み益の減少
長期前払費用	・減価償却による減少の一方で、医薬品事業における販売権取得等による増加

(百万円)

項目		決算期	2021年3月期		2022年3月期 第2四半期	増減 (対前期末)
			第2四半期	期末		
負 債	負債合計		47,444	48,907	43,857	△5,049
	流動負債		15,639	18,245	20,565	2,319
	支払手形及び買掛金		5,341	7,909	4,994	△2,914
	短期借入金		1,746	1,743	1,735	△8
	未払法人税等		1,229	1,487	2,056	568
	契約負債		-	-	2,879	-
	その他の流動負債		7,322	7,104	8,899	1,795
	固定負債		31,804	30,662	23,292	△7,369
	長期借入金		5	-	-	-
	繰延税金負債		27,343	28,480	21,281	△7,198
	退職給付に係る負債		3,471	1,234	1,104	△130
	その他の固定負債		983	946	906	△40
純 資 産	純資産合計		219,037	219,953	207,198	△12,755
	株主資本		146,618	144,941	147,890	2,948
	資本金		24,356	24,356	24,356	-
	資本剰余金		24,226	24,226	24,226	0
	利益剰余金		109,643	109,270	112,219	2,948
	自己株式		△11,608	△12,911	△12,911	△0
	その他の包括利益累計額		71,898	74,373	58,620	△15,753
	非支配株主持分		520	638	688	49
負債及び純資産合計			266,481	268,861	251,056	△17,805

支払手形及び買掛金	・医薬品事業、情報サービス事業、建設請負事業における減少
未払法人税等	・医薬品事業における所得増に伴う増加
契約負債	・収益認識会計基準等の適用に伴う新設勘定科目
その他の流動負債	・主として、医薬品事業における未払金の増加
繰延税金負債	・投資有価証券の含み益減少に伴う減少
利益剰余金	・会計方針の変更（収益認識会計基準等の適用）による累積的影響額△1,472、期中配当金支払い△1,245、親会社株主に帰属する四半期純利益+5,666
その他の包括利益累計額	・投資有価証券の含み益減少に伴うその他有価証券評価差額金の減少、退職給付に係る調整累計額の増加

Ⅲ. 連結キャッシュ・フロー計算書の推移

(百万円)

項目	決算期	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー		△1,262	931	2,194
投資活動によるキャッシュ・フロー		△8,669	5,280	13,949
財務活動によるキャッシュ・フロー		△1,288	△1,300	△11
現金及び現金同等物に係る換算差額		△0	0	1
現金及び現金同等物の増減額		△11,221	4,912	16,133
現金及び現金同等物の期首残高		59,319	43,447	△15,872
現金及び現金同等物の期末残高		48,098	48,359	261

主な増減要因（前年同期比）

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー：増加

営業活動により前年同期に比べ2,194百万円の資金が増加し、931百万円の収入となりました。税金等調整前四半期純利益の増加に加え、売上債権、棚卸資産の減少などの資金増加要因によるものです。

2. 投資活動によるキャッシュ・フロー：増加（収入増）

投資有価証券、長期前払費用の取得などの投資活動により資金が減少した一方で、投資有価証券の売却による収入の増加がありました。その結果、前年同期に比べ13,949百万円の資金が増加し、5,280百万円の収入となりました。

3. 財務活動によるキャッシュ・フロー：減少（支出増）

財務活動の結果、前年同期に比べ11百万円の資金が減少し、1,300百万円の支出となりました。主な用途は配当金の支払いです。

IV. 配当の推移

(円)

項目	決算期 2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期予想
中間配当	25	26	27	28
年間配当	50	52	54	56

(参考)

(百万円)

自己株式の取得	-	-	1,303	-
(取得株式数)	-	-	(600千株)	-
自己株式の消却	-	-	-	-
(消却株式数)	-	-	-	-

V. 主な医薬品の売上推移

(百万円)

製品名	決算期 2020年 3月期	2021年3月期		2022年3月期			
		第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計	前同比	通期予想	前期比
過活動膀胱治療薬 ベオーバ	3,185	3,387	7,024	3,973	17.3%	8,300	18.2%
デスマプレシン製剤 ミニリンメルト、他*	-	1,511	3,464	2,022	33.8%	4,100	18.4%
排尿障害改善薬 ユリーフ	5,857	1,969	3,671	1,476	△25.0%	2,800	△23.7%
高リン血症治療薬 ピートル	5,752	3,039	5,885	2,946	△3.1%	6,300	7.1%
腎性貧血治療薬 ダルベポエチン アルファBS注JCR	812	2,676	4,883	1,787	△33.2%	4,100	△16.0%
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注JCR	5,520	2,280	4,416	1,979	△13.2%	3,500	△20.7%
糖尿病治療薬 グルバズ	4,501	2,181	4,308	1,964	△9.9%	4,000	△7.1%
糖尿病治療薬 グルファスト	1,406	619	1,161	530	△14.4%	1,100	△5.3%
糖尿病治療薬 マリゼブ	-	796	1,547	641	△19.4%	1,400	△9.5%
口腔乾燥症状改善薬 サラジェン	1,604	781	1,526	734	△6.0%	1,500	△1.7%
潰瘍性大腸炎治療薬 レクタブル	756	412	791	401	△2.6%	800	1.1%

* : ミニリンメルトOD錠25μg/50μg/60μg/120μg/240μg、デスマプレシン点鼻液0.01%協和、デスマプレシン・スプレー2.5協和/10協和、デスマプレシン注4協和

VI. 新薬開発状況（自社）

(2021年11月現在)

製品名 ／一般名 ／開発番号	予定適応症	主な作用等	開発段階	開発区分
タブネオス® ／アバコパン	顕微鏡的多発血管炎、 多発血管炎性肉芽腫症	選択的C5a受容体拮抗作用	承認取得	導入品／ピフォー・フレゼニウス・ メディカル・ケア・リーナル・ファーマ (スイス)
カロテグラストメチル ／AJM300	潰瘍性大腸炎	α4インテグリン阻害作用	承認申請中	導入品／EAファーマ 共同開発
ロバチレリン ／KPS-0373	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出 ホルモン(TRH)作用	申請準備中	導入品／塩野義製薬
ホスタマチニブ ／R788	慢性特発性血小板減少性紫斑病	チロシンキナーゼ阻害作用	第Ⅲ相	導入品／ライジェルファーマシューティ カルズ(アメリカ)
ジフェリケファリン ／MR13A9	透析患者におけるそう痒症	κオピオイド受容体刺激作用	第Ⅲ相	導入品／丸石製薬 共同開発
CG0070	筋層非浸潤性膀胱がん	腫瘍溶解性ウイルス療法	第Ⅲ相	導入品／CGオンコロジー (アメリカ)
リンザゴリクス ／KLH-2109	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト	第Ⅱ相	創製品
KDT-3594	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	第Ⅱ相	創製品
KSP-0243	炎症性腸疾患		第Ⅰ相	創製品

※ 前回公表時（2021年8月）からの変更点： アバコパン… 承認申請中 → 承認取得

VII. 新薬開発状況（導出）

(2021年11月現在)

一般名／開発番号	予定適応症	主な作用等	実施国・地域	提携企業	開発段階
リンザゴリクス (linzagolix)	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	欧州、米国	オブシーバ(スイス)	承認申請中
	子宮内膜症		欧州、米国		第Ⅲ相
	子宮筋腫、子宮内膜症		中国	バイオジェニユイン(中国)	臨床試験 準備中
シロドシン (silodosin)	前立腺肥大症に伴う排尿 障害	α1Aアドレナリン受容体 拮抗作用	ベトナム、他	エーザイ(日本)	承認申請中
KDT-3594	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	中国、他	アフアメドセラピューティクス (中国)	第Ⅱ相
ベドラドリン (bedoradrine)	喘息の急性発作	β2アドレナリン受容体 刺激作用	米国	メディシバ(アメリカ)	第Ⅱ相
ホスタマチニブ (fostamatinib)	慢性特発性血小板減少性 紫斑病	チロシンキナーゼ阻害作用	韓国	JWファーマシューティカル (韓国)	臨床試験 準備中
			中国、他	インマジンバイオファーマシュー ティカルズ(中国)	臨床試験 準備中

※ 前回公表時（2021年8月）からの変更点： リンザゴリクス（米国、子宮筋腫）… 第Ⅲ相 → 承認申請中